

令和4年度（2022年度）第2回企画編集部会議事録

日 時 令和5年2月14日（火）15:00～15:30

場 所 オンライン開催

北海道立道民活動センター（かでの2・7）3階310会議室

出席者 桑原真人編集長、坂下明彦副編集長、小内純子委員、谷本晃久委員、  
平野友彦委員、山崎幹根委員

欠席者 奥田仁委員、前田亮介委員、横井敏郎委員

事務局 道史編さん室（吉原、立澤、最上、和田）

1 開会

2 議事

『北海道現代史 資料編3（社会・教育・文化）』の構成（案）について

3 閉会

## 1 開会

### 立澤主幹

- 本日、奥田委員、前田委員、横井委員の3名の委員が欠席されていますが、過半数が出席されており、会議の成立要件を満たしていることをご報告いたします。
- それでは、桑原編集長に進行をお願いしたいと思います。

### 桑原編集長

- ただ今から、令和4年度第2回企画編集部会を開催いたします。
- 本年度は、坂下副編集長を代表として刊行準備を進めてまいりました『北海道現代史 資料編2（産業・経済）』が来る3月に刊行する運びとなりました。
- 坂下副編集長、奥田委員を始めとして編さんを担当された委員の方々、室長以下道史編さん室の職員に厚くお礼を申し上げます。

## 2 議事

### 桑原編集長

- 本日予定している議事は、『北海道現代史 資料編3（社会・教育・文化）』の構成（案）についてです。事務局及び編さん担当の小内委員から説明をお願いします。

### 吉原室長

- まず、配付資料について説明します。
- 資料1の集約状況が1枚、資料2-1は社会・文化の目次案、資料2-2は教育の目次案、資料3は掲載予定の資料案に係る今後の検討の方向性を一覧にしたものです。以上は、本日配付したものです。
- 資料案については、12月末に、企画編集部会の各委員にお送りしたものをご用意いただいていると思います。
- 資料案は、昨年末にお送りして以降、各自でお読みいただき、1月末までに気付いた点などを事務局にお知らせいただきました。それをまとめたものが資料3で、ご意見とそれに対する今後の検討の方向を記載しています。
- 社会・文化小部会も、教育小部会も、まだ、資料が出揃っていなかったり、資料の入替えを検討中であつたりする分野がありますので、今後、ある程度まとまった段階で、企画編集部会の各委員にお送りして、気付いたことをご寄せいただきたいと思いますと考えております。
- まず、教育小部会の担当分について、本日ご欠席の横井委員に代わりまして、私から説明させていただきます。資料2-2の教育の目次案と資料3の2ページをご覧くださいと思います。
- まず、第1章「占領下の教育改革」については、第1節は10点、第2節は12点の資料が掲載されています。

- 資料3に掲載しておりますけれども、一つ一つの資料の範囲が短いことと、分担頁を超過しているという意見がありました。これらについては、今後全体が整っていく中でバランスをみて、調整することも考えていきたいと考えております。
- 第2章「教育行政・教育計画」は、第1節3点、第2節4点で、教育基本法から市町村や道が教育計画を策定していくまでの流れを押さえた配置となっていて、今のところはこの方向で進めていきたいと考えています。
- 第3章「教育政治・教育運動」は、資料は「北教組との協定書」1点となっています。資料3にありますように、今後、資料の追加について検討するとともに、第8章第1節「教育問題・教育運動」と内容が重なっているので、第8章を統合する方向で検討したいと考えております。
- 第4章「小学校・中学校」は、第1節が計6点、第2節は4点、第3節は2点、第4節が2点、第5節が4点となっています。幅広い課題について取り上げています。今のところは概ねこの方向でと考えています。
- 第5章「高等学校」は、5点です。通学区域など、制度的な内容の資料が中心となっているので、今後はもう少し、教育活動に関する資料についても追加できないか検討したいと考えています。
- 第6章「へき地教育」は6点で、第4章の小・中学校とのバランスを見ても、この方向でよろしいと考えています。
- 第7章「障がい児教育」は、第1節が計4点、第2節も計5点、第3節は3点、バランスよく取り上げられており、この方向でと考えております。
- 第8章「教育問題・教育運動」は第1節9点、第2節は2点となっています。先ほど説明したように、第1節の「教育問題・教育運動」は第3章との統合、第2節「高等専門学校」は第9章の「大学・短大」に統合すると分かりやすいと思うので、その方向で検討したいと思えます。
- 第9章「大学・短大」は5点ですが、今後資料の追加について検討したいと思えます。
- 第10章「職業教育」は、第1節と第2節は3点ずつ、第3節は4点、第4節は2点、第5節は1点となっています。分担頁を超過していますので、資料3にありますとおり今後全体が整っていく中で、ページ数を調整することも考えたいと思えます。
- 第11章「社会教育」は、第1節3点、第2節5点、第3節と第4節は各3点、第5節と第6節は各2点、第7節は1点となっています。道内各地の資料が取り上げられており、概ねこの方向で進めていきたいと考えています。
- 第12章「就学前教育・保育、子育て」は8点で、特徴的な資料が取り上げられており、この方向で進めていきたいと考えています。

- 第13章「少年司法福祉」は第1節4点、第2節1点、第3節3点で、特徴的な資料が取り上げられており、この方向で進めていきたいと考えています。
- 第14章「アイヌと教育」は、資料3にありますとおり、作業が遅れており、まだ掲載できていませんが、編さん委員会のご意見を踏まえて、担当委員と相談していきたいと考えています。
- 教育の方の説明は以上でございませう。引き続き、小内委員から社会・文化についてご説明をお願いいたします。

#### 小内委員

- 資料3の1ページと目次を参照していただければと思います。第1章「終戦直後の混乱と生活」についてですが、5節構成で資料10点を掲載しています。ここは、他の章がすべて戦後直後から始まるということもあって、重複を考慮し点数を少なめに設定しています。
- 第2章「農漁村・炭鉱の生活の変化」は、【農漁村の生活】と【炭鉱の生活】に分かれています。【農漁村の生活】は3節構成で資料22点ほど掲載していますが、全体としてももう少し分量を減らしていく必要があると考えています。
- 【炭鉱の生活】については、吉岡委員が急逝され、それを引き継いで小内透委員が担当することとなり、現在、調査を行っているところです。2月中を目処に何とか資料を収集したいと考えているところです。
- 第3章「都市化と都市の生活」は、3節構成で資料18点を掲載しています。資料2-1で赤い文字になっているところは、闇市に関する資料が『資料編2』と重複したため、差し替えを行ったもので、お手元の原稿ではまだ反映されていません。
- 第4章「保健・福祉・医療」は、6節構成で資料15点を掲載。北海道らしく、エキノコックスやへき地医療、夕張で発生したポリオなどに関する資料がバランスよく取り上げられていると思います。
- 第5章は「社会運動」で、【市民・環境・政治運動】は、8節構成で資料35点を掲載しています。労働運動については『資料編2』で取り上げているのでここでは触れておりませう。2つ目の柱である【障がい者運動】については、教育編の方に掲載する障がい児教育とは住み分けをして掲載しています。資料2-1ではここも赤字になっていると思いますが、節のタイトルと資料が合わなかったり、内容が北海道ではなく全国に関する資料が使われていたりしているので修正をお願いして、それが反映されているものですが、お手元の原稿案の方はこれから差し替えることになっております。
- 3本目の柱【女性の人権を求める団体活動】は、5節構成で資料11点が掲載されています。掲載している資料の年代の順番が前後しているということでその修正をお願いしているところです。

- 第6章「自然災害と防災」は、5節構成で資料14点を掲載しています。これまであまり取り上げられてこなかった海外移住や、障がい者の方の避難の支援などが取り上げられております。
- 第7章「宗教」は、5節構成で資料13点を掲載しています。比較的新しい時期の全国紙の記事が使われているため、別の資料への差し替えの検討などを行っていただいているところです。
- 第8章「まつり」は、3節構成で資料18点を掲載しています。道内各地の祭りのほか、PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル）なども取り上げられています。
- 第9章「地域からの情報発信」は、6節構成で資料20点を掲載しています。資料3にもありますように、特に地方新聞に関しては、周辺地域のものが多かったのですが、もう少し地域的バランスを取った方がいいのではないかとのご意見があったので、現在検討をしています。
- 第10章は「食住の変化」で、【食文化】は3節構成で資料7点を掲載していますが、このほかに聞き取り調査を元に資料1点を追加する予定になっています。資料2-1を見ていただくとわかりますように、食文化として取り上げられている項目が道民の食生活全般にわたっているわけではないので、これをどうして取り上げたかという位置付けを解説文に明記してほしいということをお願いしているところです。
- 【住文化】は、資料6点があがってきていますが、各資料の標題は未定となっています。資料が少し重複していたり、刊行物が中心であったりということで、もう少し一次資料に近いものを検討していただきたいと担当委員をお願いしているところです。
- 第11章「美術・文学」の【美術】は、3節構成で資料11点を掲載しております。ここは、時期区分のところがもう少し美術史の流れがわかりやすいような形で区分や名称を考えてほしいということをお願いしています。
- 【文学】も3節構成で資料11点を掲載しているのですが、同人誌の潮流を中心にまとめられているので、北海道の文学のまとめとしては少し異質なところがありますので、こういう形でまとめることについての解説文を充実してほしいということをお願いしております。
- 当初、11章では美術と文学のほかに、北海道のマンガや映画も考えていたのですが、資料として提出するのがなかなか難しいということで、今回は割愛し、通史編の方に反映するような形にしたいと考えております。
- 第12章「スポーツ」は、4節構成で資料18点となっています。プロのスポーツ、社会人スポーツ、市民スポーツなどが中心となっていて、まだ資料の差し替えは行われていませんけれども、作業の方は進めているところです。

- 第13章「アイヌの人びとの生活と文化」は、教育編の説明にもありましたけれども作業が遅れていて、現在は3点が提出されているだけなので、早く提出するよう引き続きお願いするという形になっております。

#### 桑原編集長

- ありがとうございます。ただいま『北海道現代史 資料編3（社会・教育・文化）』の構成案について説明がありましたが、ご質問やご意見はございませんか。
- 特にご意見がなければ、ただいま説明された事案を踏まえまして、各小部会におきましては、作業を進めていただきたいと思います。小内委員が担当されている社会・文化は大変幅広い分野がありまして、大変ご苦勞されておりますけれども、1年後の刊行を目指してどうぞ頑張ってください。よろしく申し上げます。

#### 小内委員

- こちらこそ皆さんのご協力をお願いいたします。

#### 桑原編集長

- はいわかりました。次に今後の審議の進め方につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

#### 吉原室長

- 構成案については、ただ今説明しましたように、資料の見直しなどを行っていただいた上で、編さん委員会で審議をしていただく方向で、準備を行いたいと思います。
- また、この後、各小部会における解説文と資料の相互閲読を行っていただいた後、原稿全体について企画編集部会で審議していただき、その後編さん委員会で審議していただきたいと思いますと考えております。
- 最終的には、『資料編2』のときと同様、遅くとも6月には答申が行われるよう作業を進めていただきたいと思いますと考えております。
- 編さん委員会の回数や開催時期については、企画編集部会での審議や各小部会での作業の進捗によると思いますので、委員長や編集長と相談しながら、その都度お知らせしたいと考えております。
- 資料案に関して気付いたことがありましたら、どんな小さいことでも、引き続き、随時、担当部会長・小部会長または編さん室の方にお寄せいただきたいと思います。
- 編さん作業はかなり遅れておりますので、今後も何とぞご協力をお願いいたします。

#### 桑原編集長

- ただ今の説明に対しまして、ご意見ご質問はございませんか。
- 以上で予定した議事は終了しましたが、その他、全体を通して、皆さんからご

意見などありますか。

- 他になければ、事務局から連絡事項などありますか。

**吉原室長**

ございません。

### **3 閉会**

- それでは、以上をもちまして、第2回企画編集部会を終了します。皆さま、ありがとうございました。お疲れ様でした。